

普及活動情勢報告（令和4年7月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

このユズ園は受託管理できそう？改植の必要性は？ ～（農）上東が受託管理候補ユズ園の現地調査を実施～



7月13日、（農）上東の役員5人が、JA高知県コスモス柚子部会長、いの町役場および農業改良普及課と連携し、受託管理候補ユズ園の現地調査を行いました。

（農）上東はユズ園地を受託管理し、地域の農地を守りたい意向があり、候補園の現地調査を行いました。

役員は、農業改良普及課から園地地図と基本情報を提供した後、柚子部会長のアドバイスをもらいながら園内を見て回り、改植か、残すならどの樹か等意見交換しました。

農業改良普及課は今回の調査結果を踏まえ、経営試算を複数パターン作成し、受託の可否を判断できるよう支援をしていきます。

ニラの初収穫！篤農家の収穫・調製技術を学ぶ！ ～（公財）いの町農業公社若手研修指導者の研修会を開催～



7月4日、（公財）いの町農業公社の若手研修指導者を対象に、ニラの収穫および出荷調製作業について学ぶ研修会を、篤農家の協力を得て開催しました。

篤農家からは収穫位置や、収穫時のコンテナへの集め方、そぐりのコツ等について、農業改良普及課からは作業中に異物が混入しないようキャップを着用すること等について指導しました。

若手研修指導者やそぐり手からは、効率的な収穫・出荷調製作業の段取り、どの程度の長さや曲がりまで出荷するのか等、多くの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も栽培時期に合ったニラ栽培技術の習得に向け支援していきます。

収量アップにつながるかん水管理を目指して ～JA高知県土佐市胡瓜部会反省会を開催～



7月1日、JA高知県土佐市胡瓜部会が反省会を開催し、生産者14人が参加しました。農業改良普及課は、連続更新栽培を行う‘ニーナ’の土壌水分センサーを活用したかん水管理の見える化と、夏場の熱中症対策について説明しました。

生産者からは、「これまで感覚で行っていたが、数値で見られるようになったのか。」といった驚きの声があがりました。

実際に測定した生産者を含めた参加者全員の、かん水タイミングや量を見直すきっかけとなりました。

農業改良普及課は引き続き、単価の良い厳寒期についても調査を行い、かん水管理の見える化による収量アップを目指します。

次園芸年度作に向けて今作を振り返り ～JA高知県土佐市イチゴ部会反省会を開催～



6月28日、JA高知県土佐市イチゴ部会が反省会を開催し、生産者9人が参加しました。農業改良普及課は、定植前のイチゴ苗のハダニ防除試験計画と夏場の熱中症対策について説明しました。

生産者からは「ハダニの密度を年内に抑制できれば、春先まで防除回数が少なくて済むので、初期防除が重要」との声が聞かれるなど、害虫防除対策の徹底への意識を高めることができました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して、イチゴの生産安定に向けて支援します。